GUIDE BOOK
2027

通信制高校サポート校
横浜・市が尾



知的好奇心を、
自分の生き方に。

SYUSO 高等学院

しゅうそう こうとうがくいん

ADMISSION 2027 新入学・転入・編入 受付中

5名	4つ	11:00	3分
1学年の最大人数	選べる学び方	授業のはじまり	市が尾駅から

045-530-5043
見学・相談 受付中

syuso.com
〒225-0024 横浜市青葉区市ケ尾町1158-3 杉田ビル



MESSAGE

つまずいた話も
そのまま持ってきていい場所。

SYUSO高等学院は、うまくいかなかった経験を「なかったこと」にしません。そこから次の一歩をどう出すかを、一緒に考える場所です。

人生には、山を登るときもあれば、谷を歩くときもあります。つまずいたことや、やめてしまったこと。それは弱さではなく、次の一歩のための地形だと考えています。だから、ここでは「前の学校でどうだったか」を責めません。いまどこに立っているかを確かめて、そこから歩き出します。

将来やりたいことが、まだ分からなくても大丈夫です。「今、ちょっと好きなことって何だろう」。私たちはそこから一緒に考えます。ゲームが好きなら、「一緒に作ってみようぜ」。先生も隣で手を動かします。試してみて「次はこうしたい」と思ったら、そこから先は、あなたのアイデアの出番です。

SYUSO
高等学院

SYUSO（しゅうそう）は、漢字で「**舟想**」と書きます。運営する株式会社SOSHIP（**想舟**）と同じ2つの字です。たくさんの人の想いが風になって、一人ひとりの舟を前へ進めていく。その舟のひとつが、SYUSO高等学院です。

CONTENTS

01	SYUSO高等学院のしくみ	03
02	学び方は4つから	04
03	通う日の1日と1週間	05
04	オンラインの教室と1日	06
05	活動・体験	07
06	dosite とわたしの教科書	08
07	一人ひとりの実習	10
08	アグロラ祭	11
09	大学進学／食図鑑のレポート	12
10	1年間の行事／入学案内と学費	14

ABOUT

About

高校は明誠高等学校。
毎日の勉強はSYUSO高等学院で。

SYUSO高等学院は、明誠高等学校（広域通信制・本校は島根県益田市）の学習拠点です。入学すると明誠高校の生徒になり、ふだんの勉強は市が尾のSYUSO高等学院で進めます。

在籍する学校
明誠高等学校
単位の認定、スクーリング、卒業証書の発行

＋

ふだん学ぶ場所
SYUSO高等学院
科目授業、レポート、個別授業、進路の相談

→

ゴール
高校卒業
74単位を修得して、明誠高校を卒業



IN NUMBERS

数字で見る SYUSO高等学院

1学年の定員
5名まで
定員に達した学年は、その時点で募集を締め切ります。

スタッフ1人あたり
2〜3人
手が止まっていれば、その日のうちに気づけます。

平日の教室
11:00〜21:00
午前から来て自習することもできます（希望者）。

市が尾駅から
3分
東急田園都市線「市が尾駅」から歩いて3分。

卒業に必要な単位
74単位
前の学校の単位は、原則そのまま引き継げます。

学び方
4つ
オンラインと、通学（週1日・週3日・週5日）。

スクーリング
年8回
6・7・10・11月に2回ずつ、土日の対面授業です。

夜の個別授業
0円
月〜金 19:00〜21:00。希望制で、追加費用はかかりません。

学期	前期（4〜8月）と後期（9〜3月）の2学期制。学期ごとに単位が認定されます。
転入・編入	年度の途中でも受け付けています。前の学校にいた期間も合わせて、卒業までの計画を立てます。
入学式・卒業式	どちらもSYUSO高等学院で行います。
単位認定試験	前期は8月、後期は1〜2月に会場で受けます（2026年度の会場は大正大学）。
卒業資格	全日制の高校と同じ「高校卒業」。大学や専門学校の受験資格も変わりません。
同じ建物に	放課後等デイサービス narZE、学習・探究教室 StarGlobe があります。



LEARNING STYLE

学び方は4つから選べます。

自宅から学ぶオンラインスタイルと、教室に通う通学スタイル（週1日・週3日・週5日）。いまの自分に合うところから始められます。通学スタイルで何曜日に通うかは、入学のときに一緒に決めます。

オンラインスタイル

オンライン
ONLINE

学習サポート費（月額）
30,000円

ブラウザで入る3Dの教室「学び場3D」にアバターで集まり、席から学習システム dosite を開いて学びます（6ページ）。

narZE（放課後等デイサービス）との併用はできません。

通学スタイル

週1日

学習サポート費（月額）
12,000円

週1日、教室に通います。自分のペースを保ちながら、教室で学ぶ日をつくれます。

narZE併用なら 月0円・4,600円・20,000円（負担上限額による）

通学スタイル

週3日

学習サポート費（月額）
30,000円

週3日、教室に通います。曜日ごとの活動のうち、通う曜日のものに参加できます。

narZE併用なら 月0円・4,600円・20,000円（負担上限額による）

通学スタイル

週5日

学習サポート費（月額）
30,000円

月曜から金曜まで、毎日通います。曜日ごとの活動プログラムに、すべて参加できます。

narZE併用なら 月0円・4,600円・20,000円（負担上限額による）

どのスタイルでも同じこと

在籍は明誠高等学校。スクーリング（6・7・10・11月に2回ずつ、土日）と単位認定試験（前期8月・後期1〜2月）は会場で受けます。

学習サポート費に入っているもの

科目授業、夜の個別授業（希望制）、活動プログラム、進路指導、出願書類の添削。追加費用はかかりません。

narZE の併用について

同じ建物の放課後等デイサービスです。併用できるのは通学スタイルの方で、通う日数にかかわらず同じ金額です（15ページ）。

A DAY & WEEK

A Day

通う日の1日の流れ

昼は明誠高校の単位をとるための授業、夕方は曜日ごとの活動、夜は希望する人のための個別授業。全部に出る必要はありません。どの時間に出るかは、入学のときに一緒に決めます。

午前
希望者

自習・個別対応

午前中から来ることもできます。前の日の続きやレポートの見直しを、自分のペースで進めます。



11:00
〜16:00・月〜金

科目授業

学習システム dosite を使った対話型の学習です。教科書を1行ずつ読み、「どうしてそうなるのか」を自分の言葉にしながらレポートを進めます。スタッフ1人に生徒2〜3人なので、手が止まったらすぐに声をかけられます。



16:00
〜17:30・曜日ごと

探究・活動

企業を見に行く日、話し合う日、竹を切りに行く日。ここでの経験は、そのまま出願書類に書ける記録になります（7ページ）。



17:30
毎日

ふりかえり

どこまで進んだかを確かめ、その日わかったことをスタッフに話します。次に来る日の約束をして、1日が終わります。



19:00
〜21:00・月〜金

個別授業（希望者のみ・追加費用なし）

前の学年からの学び直しや志望大学の入試対策を、一人ひとり内容を変えて進めます。共通テストや国公立大学の二次試験の勉強にも使えます。



WEEKLY

1週間の例 週5日通う場合

曜日	11:00〜16:00	16:00〜17:30 の活動	19:00〜21:00
月	科目授業 dositeで対話型学習 レポートと教科書	心理テストプロジェクト	個別授業 希望者のみ 学び直し・入試対策
火		企業訪問・CAD／3Dプリンタ	
水		プログラミング・ドローン	
木		地域創造「つなげるQUEST」	
金		レトリック対話会／ダイバーシティトーク	
土	個別相談会（第1・第3土曜）／スクーリング（6・7・10・11月、土日）／里山フィールドワーク、地域のお祭りへの参加など（不定期）		

※ 活動の内容は時期によって変わります。週1日・週3日の方は、通う曜日の活動に参加します。



学び場3Dの教室（画面・名前は見本）

ONLINE STYLE

家から学ぶ日も 3Dの教室で同じ時間割。

オンラインスタイルでは、ブラウザで入る3Dの教室「学び場3D」にアバターで集まり、席から dosite を開いて学びます。一人で動画を見る時間ではなく、人と話しながら学ぶ時間です。

ONLINE DAY（例）

11:00 **入室・チェックイン** 教室
ログインカードのQRを読んで入り、その日の気分と今日やること（設問・締切）を講師と確かめます。

11:15 **科目学習** 席から dosite
教科書を読んでレポートを進めます。止まったら「手をあげる」を押します。

昼 **休み時間** 庭
画面を離れて休んでも、学び場3Dの庭で過ごしてもかまいません。

16:00 **探究・活動** 部屋
オンラインで参加できる回は、部屋のホワイトボードや掲示板を使って参加します。

17:30 **ふりかえり**
わかったことを自分の言葉で講師に話し、次に学ぶ日の約束をします。

CONNECTED

手をあげる
手をあげた順番が講師に見えます。講師は同じ画面に入って一緒に考えます。

近くの人と話す
文字の会話は近くの人にだけ届きます。「声で話す」を押せば声でも話せます。

授業の道具
みんなで書けるホワイトボードと質問の掲示板があり、出席も日ごとに残ります。

会話が残る
dosite の会話は講師が読み、コメントを返します（9ページ）。



安心して使えるように

入れるのは施設の人だけ
入室できるのは11:00〜19:00です。名前は名簿からつきます。

連絡先は送れない
電話番号・メールアドレス・URLは送れません。会話は先生が確かめられます。

「こまった」ボタン
いやなことがあったときは、すぐ先生に知らせられます。

会場に行く日
スクーリング（6・7・10・11月に2回ずつ、土日）と単位認定試験は、会場で受けます。

ACTIVITIES

Activities

教室の外にも学ぶ場所がある。

曜日ごとの活動と、ときどき出かける現場。どれも、やってみて、考えて、人に伝えるところまでやります。ここでの経験は、総合型選抜の出願書類にそのまま書けます。



月曜

心理テストプロジェクト

心理テストを自分たちで作って試しながら、自分の傾向を言葉にしていきます。



火曜

企業訪問・CAD／3Dプリンタ

工場や工房を見せてもらい、教室ではCADで設計して3Dプリンタで出力します。



水曜

プログラミング・ドローン

マインクラフトからPythonへ。ドローンは実際に飛ばし、安全のルールも学びます。



木曜

地域創造「つなげるQUEST」

カードゲームで地域の課題と資源を組み合わせ、出たアイデアを実際に試します。



金曜

レトリック対話会

表現の技法を実際に使って話し、聞き、書きます。志望理由書や面接の練習にもなります。



金曜

ダイバーシティトーク

育った国や世代がちがう人と話し、自分の「ふつう」がどこから来たのかを考えます。



土曜・不定期

里山フィールドワーク

中井町の竹林で間伐に参加し、切り出した竹を器や支柱に加工します。



不定期

食図鑑プロジェクト

まちのお店で食べものの話を聞き、アプリ「食図鑑」や応援図鑑にまとめます（13ページ）。



不定期

農業学習プログラム

高校生が小学生向けの農業講座を企画し、3回の講座を自分たちで運営します。

同じ建物の narZE と

難しいことより、当たり前のことを。

今日ここに来ること。人と話すこと。好きなことを続けること。失敗したら、またやってみること。同じ建物の放課後等デイサービス narZE が大切にしていることは、SYUSO高等学院の活動の土台にもなっています。

01

「好き」をとことん追いかける

まずは自分が気になるものを見つける。調べる、作る、誰かに聞く。失敗したら、また試す。

02

自分だけの強みを見つける

苦手なことも含めて、自分はどんな人なのかを知る。人と同じではなく、自分のやり方を見つけます。

03

アイデアを現実に動かす

考えたものを実際につくり、人に見せる。誰かに届けようとすると、教室の中では分からなかったことが見えてきます。

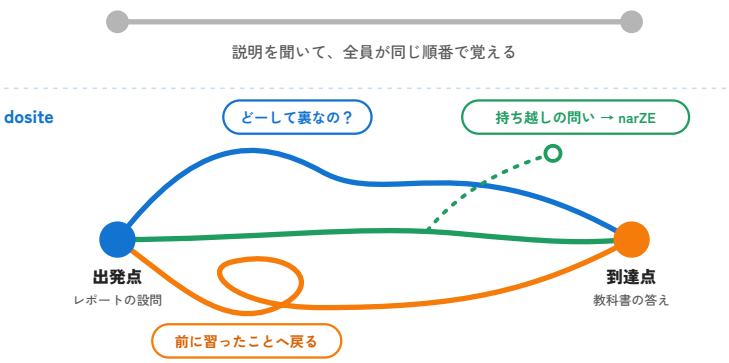
探究教室 StarGlobe も同じ建物にあります。夕方から、ことば・自己理解・地域・自然科学・ものづくりの12のプログラムが開かれ、narZE を併用する方は、その活動としても参加できます。

LEARNING SYSTEM

dosite で
学びが深まる。

dosite（どーして）は、SOSHIP が自社で開発した学習システムです。出発点（レポートの設問）と到達点（教科書の答え）のあいだを、生徒自身の「どーして？」でつなぎます。**答えは渡しません。**目標は、手順の一つひとつを「どうしてそうしていいのか」まで自分の言葉で説明できることです。

学びのルートは一人ひとり違っていい。



これまでの勉強は、説明を聞いて、同じ順番で覚えることが中心でした。dosite は、そのあいだの道を**一本にそろえません**。

どこで止まるか。どの「どーして？」から考えるか。前に習ったところへ戻るか。たどる道は、一人ひとり違っていい。

教科書の外に広がった問いも、切り捨てません。短く答えたうえで**「持ち越しの問い」**として残し、narZE の活動で調べる約束にします。

5 STEPS 1つの設問を5つの段階で

1
読む
設問と教科書
いまの設問が何をする問題かを、自分の言葉で言います。教科書の該当ページを開きます。

2
焦点を決める
何を聞かれている？
答えの形と、教科書のどの考え方を使うかを決めます。浮かんだ「どーして？」には、最優先で付き合います。

3
理由を詰める
次はどうする？ なぜ？
一歩ずつ「なぜそれでいいのか」を言います。あいまいなら教科書の文に戻って、もう一度。

4
確かめる
自分の言葉で説明
答えと解き方を、理由つきで説明します。言えたら「自分の言葉で言えたね」。

5
書く
レポートへ
説明できた時点で、レポートに取り組みます。ここまで来ていれば、写さずに書けます。

PRINCIPLES dosite が守っていること

答えを渡さない
「教えて」と言われても、渡すのは小さく分けた次の問いと、教科書のどこを見るかだけです。

丸暗記を追認しない
「なんとなく」で進めると、そこで止めて教科書に戻ります。理由が言えるまで、その設問は終わりません。

学年に縛られない
前に習った計算や決まりが使えるときは、そこへ戻って確かめます。声でも進められます。

対話の例 生物・光合成（想定例を短くしたもの）

この会話が、右ページの1章になります →

dosite　今日はレポート3の問2。「気孔が葉の裏側に多い理由を説明しなさい」。何を聞かれてる？

生徒　裏にあるって書いてあるけど、どーして裏なのか分からない。

dosite　まず、気孔は何をするところだった？　p.44 の2段落目に書いてある。

生徒　空気と水の出入り口。……あ、表は日光が当たって水が蒸発しすぎるから、裏に多いんだ。

WITH TUTORS

わかったことを講師と一緒に確かめる。

dosite で学んだあとが、もう一つの大切な時間です。生徒が自分で理解したことを、講師と一緒に一つずつ確かめ、次の一歩のアドバイスを返します。システムに任せきりにはしません。



1 講師が今日の会話を読む

生徒がどこで止まり、どう考え、どう辿り着いたかを、その日の会話から読みます。

2 評価とアドバイスを返す

進み方を記録し、生徒に届くコメントを残します。コメントは生徒の画面のいちばん上に出ます。

3 つまずきを見逃さない

同じ設問で往復が続く、30分たっても進まない。そんなときは講師に知らせが届き、声をかけます。

4 説明し返して確かめる

その日に学んだことを、生徒が講師に話します。分かったつもりだった場所を、もう一度一緒に確かめます。

5 解き直しにする

確かめてみて不十分だった設問は、講師が「解き直し」に戻せます。次の日、そこから学び直します。

6 連絡帳で家庭と学校へ

やったこと、自分の言葉で言えたこと、つまずき、次にやることを、1日1件の記録にまとめます。

MY TEXTBOOK

自分がたどった道が「わたしの教科書」になる。

わたしの教科書　生物（1章の例）　確認：担当講師

気孔はどうして葉の裏に多い？

最初のどーして？（自分で書いた言葉）
裏にあるって書いてあるけど、どーして裏なのか分からない。

道のり

手がかり　教科書 p.44 の2段落目。気孔は、空気と水が出入りするところ。

考えたこと　表は日光が当たる。表に気孔が多いと、水はどうなる？

わかったこと（わたしの言葉）
表は日光が当たって水が蒸発しすぎるから、裏に多い。

到達点
気孔が葉の裏に多いのは、水が蒸発しすぎるのを防ぐため。

持ち越しの問い　日の当たり方がちがう植物でも、同じだろうか？

講師からのことば
「蒸発しすぎる」に、自分で気づけたね。次は確認問題の2番を、自分の言葉で説明してみよう。

道のりがそのまま1章に

止まった場所、立てた「どーして？」、たどり着いた説明。同じ単元でも、一人ひとり違う教科書になります。

自分の言葉はそのまま残る

対話で言った文は原文のまま載せ、整えた文と並べます。生徒の原文は、講師も書き換えません。

講師が確かめてから渡す

下書きを講師が読み、図や説明が正しいか、言葉の意味が変わっていないかを確かめてから、印刷して渡します。

講師からのことば

講師のコメントは章の最後に載ります。次に学びを始めるときには、dosite がその一言を伝えます。

試験の前は自分の教科書で

単位認定試験の前に、章から要点・例題・確認問題を抜き出して、1冊にまとめます。

持ち越しの問いは活動へ

教科書の外に出た問いは、書き込む欄つきで章に残り、narZE の活動で調べられます。

※ 章の中身は例です。科目ごとにまとめて印刷し、B5のバインダーで綴じていきます。

PERSONAL LAB

好きなことを大学や社会で通用するところまで。

一人ひとりの「好き」や将来の夢に合わせて、実習を個別に組みます。使うのは、SOSHIP が開発して公開しているアプリと、本物のデータです。遊びで終わらせず、記録と作品を残し、人に説明できるところまで進めます。

1 聞く
好きなこと、やってみたい仕事を面談で聞きます。

2 組む
アプリとデータで、その人だけの実習を組みます。

3 残す
作品・記録・レポートとして、手元に残します。

4 届ける
アグロラ祭で発表し、出願書類や面接で語れる実績に。



音楽が好き

DJ Lab で2曲をつなぐ

DJ コントローラー（DDJ-FLX4）をつなぎ、再生・フェーダーから、ビート合わせ、EQ、ループ、エフェクト、スクラッチまで6つのステージで進めます。自分の曲を取り込んでミックスし、録音して作品として残せます。

使うデータ
曲のBPM・拍の位置・音量・波形の解析

→ 音楽・音響・イベントの仕事や学び



ことばが好き

ジダマで漢字を書いて使う

読んだ文章から漢字が「字霊」として現れ、書いて仲間にし、熟語にして使います。常用漢字2,136字すべてに書き順の手本があり、書いた線を、書き順・向き・はね・はらいまで手本とくらべます。

使うデータ
漢字の書き順（KanjiVG）、字と熟語の辞書（KANJIDIC2・JMdict）

→ 国語・日本語教育・文学の学び



火山・地球が好き

マインクラフトと火山ラボで火山をつくる

マインクラフトで火山をつくるところから始め、「ふじさん火山ラボ」では本物の地形の富士山で溶岩を流し、ねばりけや噴火口の位置を一つだけ変えて比べます。桜島の大正噴火（1914年）の溶岩とも比べます。

使うデータ
国土地理院の標高データ、実在の鉱物のデータ（硬さ・重さ・結晶のかたち）

→ 地球科学・防災・情報の学び。関連する「ジオフロンティア」「Mineral Battle」は、日本地球惑星科学連合（JpGU）2026年大会で発表しました。



まち・食べものが好き

食図鑑で地域を研究する

食図鑑には、47都道府県・1,892のまちの食マップがあります。まちのお店で話を聞き、「地域に残していきたい食文化」をカードにして地域へ返します。この活動を総合型選抜の提案シートにまとめた例もあります（13ページ）。

使うデータ
まちの名産・食べものの栄養価・お店への聞き取り

→ 観光・まちづくり・食の学び

※ ここに挙げたのは一例です。テーマは一人ずつ違い、使うアプリやデータも、その人の「好き」に合わせて選びます。アプリはどれも SOSHIP が開発したものです。



AGRORA FESTIVAL

作って、見てもらって、ふりかえる。アグロラ祭

アグロラ祭は、同じ建物の narZE と一緒に開く発表の場です。一人ひとりが夢中になった作品や研究を展示し、それぞれの活動の1年を報告します。当日だけのイベントではなく、その前からずっと活動が続いています。

BEFORE

準備する

人形劇を考える人、のぼり旗や看板を作る人、プログラミング部の展示（ドローンの制御、ペッパーズゴーストと呼ばれる空間反射の展示）を準備する人。別々のことをしていても、最後は同じ日に人に見てもらいます。

THE DAY

人に届ける

時間までに準備する。人に見てもらう。説明する。予定どおりにいかなければ、その場で考える。当日は「完成させる時間ではなく、お客様に届ける時間」です。

AFTER

ふりかえる

お客様を見送ったあと、円になって一人ずつ話します。何がうまくいったのか、どこで困ったのか、次にやるなら何を変えるのか。「成功しました」で終わらせません。

8月

中間発表

2026年度は8月1日に開催。約4か月かけて準備した発表と、個人作品の展示。映像、テキスタイル、ドローン、食の実験、町探検の発表がありました。うまくいかなかったことも、そのまま認める日です。

3月

1年のまとめ

アグロラ祭 2027 は、2027年3月27日（土）11:00〜16:00。個人出展、活動の1年の報告、8月を中間点にした「自分の変化」の発表。終了後の16:00〜18:00は保護者会です。





発表の経験は、総合型選抜の出願書類に書ける実績にもなります。



ACADEMIC SUPPORT

大学進学に自信があります。

総合型・学校推薦型・一般。どの入り口から行くかは、その人の強みを見てから決めます。毎日顔を合わせているので、途中で方針を変えることもできます。

1

総合型選抜

いちばんの得意分野

探究や地域での活動が、そのまま出願の実績になります。志望理由書は、話しながら一緒に仕上げます。

- 志望理由書のストーリーづくり
- 活動の実績づくり（探究・地域・制作）
- プレゼン・面接の練習
- ポートフォリオの作成

2

学校推薦型選抜

校内サポート新設

明誠高校の指定校推薦・公募推薦に向けて、評定を入学時から計画的に管理します。

- 評定平均を入学時から管理
- 推薦基準に合わせた学習計画
- 小論文・面接の指導
- 出願書類の添削

3

一般選抜

毎日の授業と夜の個別授業で

基礎から入試レベルまで、一人ひとりのいまの力に合わせて積み上げます。

- 一人ひとり別のカリキュラム
- 毎日の演習・添削・振り返り
- 共通テスト・国公立二次の対策
- 過去問演習と弱点の分析

EXAM YEAR

受験する年の1年間

4〜6月	7〜8月	9〜11月	12〜1月	2〜3月
志望校と入試方式を決めます。総合型を受ける人は、志望理由書を書きはじめます。	オープンキャンパスへ。出願書類や小論文の準備。大学見学会は希望に合わせて随時。	総合型・学校推薦型の出願、面接、小論文。	共通テスト（1月中旬）に向けた総仕上げ。私立大学の一般選抜は1月下旬から。	私立大学の一般選抜と、国公立大学の二次試験（前期は2月下旬、後期は3月）。

NIGHT CLASS

受験勉強は夜の個別授業で。

月〜金の夜は、希望する人のための個別授業です。追加費用はかかりません。前の学年の内容の学び直しから、共通テスト、国公立大学の二次試験の対策まで、一人ひとり内容を変えて進めます。基本的に、塾と併用しなくても大丈夫です。

月〜金 19:00〜21:00



FROM ACTIVITY TO APPLICATION

Report

まちで聞いたことを進学のレポートに。

食図鑑は、食品パッケージの原材料表示をスマホでスキャンすると、その材料がカードになるアプリです。栄養価がそのままカードの強さになり、遊びながら食べものの中身に触れられます。この活動の中心にあるのは、アプリそのものより「まちを歩いて話を聞くこと」です。

聞く まちの人、お店の人に話を聞く → **つくる** 聞いたことをアプリに入れる → **遊んでもらう** まちの人に使ってもらう → **また聞く** 使った感想から、次の問いへ



浜松市天竜区
はじまりは合宿とヒアリング。地域の方から聞いたまちと食べものの話をもとに、アプリを一度つくり直しました。

横浜市青葉区
八百屋やレストランに、自分たちで資料を持って提案に行き、お店を応援する「応援図鑑」が生まれました。

箱根町
聞き取りで、観光客向けのお店と地元の人が通うお店が分かれていることが見えてきました。大涌谷の黒たまごは、いまアプリに入っています。

REPORT

総合型選抜のレポートはこう組み立てる

食図鑑の活動に関わる高校生が、総合型選抜（観光・まちづくりを学ぶ学部）に向けて、A3の「解決策提案シート」と5分の発表原稿にまとめた構成です。活動の記録を、ただ並べるのではなく、「問い」から「提案」と「確かめ方」までつなげます。



1. **問いを置く**　自分が答えを出したい問いを、一文で示す
2. **現状と問題の構造**　地域のデータを調べ、「なぜ」を掘り下げる
3. **自分の問題意識**　なぜ自分がこの問いに向き合うのか
4. **これまでの挑戦**　活動の年表と、現場で分かったこと
5. **提案**　誰と誰を、どうつなぐか。段階に分けて示す
6. **実証の計画**　小さく始めて、地域へ返す順番
7. **成果の測り方**　参加の前後で、何が変わったかを確かめる
8. **大学で学びたいこと**　この先を、大学の学びにつなげる

HOW WE WORK

SYUSO高等学院での進め方

1
活動を記録する
聞き取りのメモ、写真、作ったもの。その日のうちに残しておきます。

2
対話で問いにする
「なぜ」を重ねて、自分が答えを出したい問いを見つけます。

3
シートにまとめる
志望理由書や提案シートを、スタッフと話しながら何度も書き直します。

4
発表を練習する
時間を計って話し、面接で聞かれそうなことに答える練習をします。

※ 紹介したレポートの構成は、実際の資料から名前・学校名・大学名を伏せてまとめたものです。

ANNUAL SCHEDULE

1年間の過ごし方

単位をとるためのレポートとスクーリングを軸に、合宿やお祭り、発表の場が1年のあちこちにあります。受験する年は、ここに入試の予定が重なります。









● 明誠高校　● SYUSO高等学院　● 大学入試　● StarGlobe・narZE・地域

前期 APR — AUG

4月
- **入学式**（SYUSO高等学院）・前期はじまり
- 一人ひとりの学習計画づくり
- 受験する年は、志望校と入試方式を決める

5月
- **学会発表**
  2026年度：JpGU（日本地球惑星科学連合大会）

6月
- 総合型選抜を受ける人は、志望理由書の準備

スクーリング 2回・土日

7月
- オープンキャンパス

スクーリング 2回・土日

8月
- **前期の単位認定試験**
  2026年度の会場：大正大学
- **夏期合宿**
  2025年度：静岡県浜松市天竜区くんま
- **保護者会・面談**
- **アグロラ祭**（中間発表）
- **地質・地震・火山 子どもサマースクール**
  宮城県気仙沼市

後期 SEP — MAR

9月
- 後期はじまり
- **総合型選抜**の出願スタート

10月
- 総合型選抜の試験・面接
- **地域のお祭りへの出店・撮影**
  2026年度：奈良の八百よろず祭り（10/18）

スクーリング 2回・土日

11月
- **学校推薦型選抜**の出願・総合型の合格発表
- **地区センターまつりへの出店・撮影**
  2026年度：美しが丘西（11/7）・藤が丘（11/15）

スクーリング 2回・土日

12月
- 学校推薦型選抜の合格発表

1月
- **後期の単位認定試験**（1〜2月）
- **大学入学共通テスト・私立大学の一般選抜はじまり**

2月
- 私立大学の一般選抜・国公立大学の二次試験（前期日程）

3月
- **卒業式**（SYUSO高等学院）
- **保護者会・面談**
- **アグロラ祭**（1年のまとめ）

夏期合宿

2025年度は、静岡県浜松市天竜区のくんまへ。地域の方の話を聞きながら、この場所の魅力と課題、自分たちがどう関われるかを考えました。聞いた話は、食図鑑などその後の活動につながっています。

1年を通して

スクーリング（6・7・10・11月の土日）、個別相談会（第1・第3土曜）、大学見学会（希望者と随時）、企業訪問、曜日ごとの活動、StarGlobe のプログラム、里山フィールドワーク、食図鑑の聞き取り。

※ 2027年度の予定です。2026年度の実績をもとにしており、日程や会場は変わることがあります。年度の途中で入学した方には、その時期からの計画を一緒に立てます。

ADMISSION & TUITION

Admission

入学案内と学費

選考は書類と面接で、学力試験はありません。1学年の定員は最大5名です。定員に達した学年は、その時点で募集を締め切ります。

QUALIFICATION

出願資格

新入学	転入学	編入学
中学校を卒業見込みの方・卒業した方 入学は2027年4月	いま、ほかの高校に在籍している方 随時（年度の途中でも受付）	高校を中退された方 随時（年度の途中でも受付）

FLOW

出願・選考の流れ

1 **見学・相談**
出願書類もお渡しします

2 **出願**
書類をそろえて提出

3 **面接**
学力試験はありません

4 **合否の通知**
書類と面接で選考

5 **入学手続き**
学習スタイルを決めます

転入学・編入学は、前の高校の単位と在籍期間を原則そのまま引き継げます。相談した月から通い始められます。

TUITION

学費

SYUSO高等学院の学習サポート費 ＋ 通信制高校（明誠高等学校）年間学費

学習スタイル	オンライン	通学 週1日	通学 週3日	通学 週5日
学習サポート費（月額） narZEを併用しない	30,000円	12,000円	30,000円	30,000円
narZE（放課後等デイサービス）を併用する場合の学習サポート費（月額） 通学は、週1日・週3日・週5日のどれでも同じ				
負担上限 0円 生活保護・市民税非課税の世帯	併用できません	0円	0円	0円
負担上限 4,600円 市民税課税世帯（一定の所得まで）		4,600円	4,600円	4,600円
負担上限 37,200円 それ以上の所得の世帯		20,000円	20,000円	20,000円

＋ **通信制高校（明誠高等学校）年間学費 10万円程度**
どの学習スタイルでも同じです。初年度は入学時にかかる費用が加わるため、10万円を超える場合があります。世帯の収入に応じて、高等学校等就学支援金制度の対象となる場合があります。

年間費用合計（目安） narZEを併用しない	約46万円	約24.4万円	約46万円	約46万円
narZE併用・負担上限 0円	併用できません	約10万円	約10万円	約10万円
narZE併用・負担上限 4,600円		約15.5万円	約15.5万円	約15.5万円
narZE併用・負担上限 37,200円		約34万円	約34万円	約34万円

※ 年額は学習サポート費12か月分で計算した目安です。narZE の利用には、自治体が発行する受給者証が必要です（対象は6歳〜18歳）。科目授業・夜の個別授業（希望制）・活動プログラムに追加費用はかかりません。正確な金額は、個別相談でご家庭の状況を伺ってご説明します。

VISIT & CONSULT

まずは見学と
個別相談会へ。

まだ迷っている段階でも構いません。本人だけ、保護者だけでも大丈夫です。
遠方の方や外に出るのが難しい方は、オンラインでも相談できます。

第1・第3土曜・参加無料

個別相談会（オープンラボつき）

はじめに学校の説明、そのあとはご家庭ごとの相談です。学費の計算、転入・編入の単位、学び方などにお答えします。相談会のあとは、希望する方だけ火山実験室のオープンラボも体験できます。**見学・個別相談は、ほかの日も随時（事前予約制）。**

日程と申し込み
syuso.com/openlab/



家でどう声をかけたらいいか、迷っている方へ

お子さんがまだ誰かと話す気持ちになれないときは、保護者の方だけでもご相談いただけます。家ではどんなことを楽しんでいますか。今、どんなことが気がかりですか。お子さんを信じる気持ちが伝わる言葉を、一緒に考えましょう。ご家庭や学院、地域の大人が、それぞれにできる形でお子さんを見守っていけたらと考えています。

保護者だけのご相談も、見学・個別相談と同じ窓口で受け付けています（syuso.com/visit/）。

Q&A

見学でよく聞かれること

Q 通信制高校とサポート校はどう違うのですか？
卒業の資格を出すのは通信制高校です。入学すると明誠高等学校の生徒になり、ふだんの勉強は市が尾のSYUSO高等学院で、毎日そばで支えます。

Q 毎日通わないといけませんか？
いいえ。オンラインと、通学（週1日・週3日・週5日）から選べます。通う曜日は、入学のときに相談して決めます。

Q 学校に行けていない時期があります。
そういう生徒が、たくさん通っています。まず安心してその場にいられることから。成績や出席日数が理由で入学できないことはありません。

Q 勉強についていけるか不安です。
教科書を使って、いまの学年の基礎から進めます。分からないところは、その場で聞けます。前の学年からの学び直しには、夜の個別授業も使えます。

Q 通信制高校から大学に進学できますか？
できます。総合型・学校推薦型・一般のすべてに対応し、志望理由書や面接の準備も校内で。基本的に塾と併用しなくて大丈夫です。

Q まだ中学生です。いまから相談できますか？
できます。フリースクールを併設していて、中学3年生は通いながら受験に備え、ここが合うかどうかを確かめられます。

見学・相談のお申し込み、お問い合わせ

045-530-5043

〒225-0024 横浜市青葉区市ケ尾町1158-3 杉田ビル
東急田園都市線「市が尾駅」徒歩3分　／　info@narze.xyz

Webからも申し込めます
syuso.com/visit/
2027年4月 新入学／転入・編入（随時）

SYUSO
高等学院

運営：株式会社SOSHIP（想舟）
提携：明誠高等学校（広域通信制・島根県益田市）
同じ建物に：narZE（放課後等デイサービス）・StarGlobe（学習・探究教室）